

令和8年度 茨城県高体連 バドミントン専門部 定期総会 資料

協議題

- (1) 令和7年度行事報告
- (2) 令和7年度決算報告
- (3) 令和7年度監査報告
- (4) 令和7年度茨城県バドミントン協会決算報告
- (5) 令和8年度役員(案)
- (6) 令和8年度行事(案)
- (7) 令和8年度予算(案)
- (8) 令和8年度茨城県バドミントン協会登録案内
- (9) 令和8年度茨城県高体連個人登録案内
- (10) 全国高体連専門部運営負担金
- (11) その他
 - a 競技規則・審判員ルール教本(赤・緑本)購入について
 - b 審判委員への連絡
 - c 全国私立学校大会(8月下旬)について
 - d 関東公立学校大会(12月下旬)について
 - e 内規改正案(「V. 表彰」の記載について)
休憩(30min)※各地区ならびに私立学校の打ち合わせを行ってください。
- (12) 関東大会茨城県予選会組み合わせ抽選

※ 専門部内規については、茨城県高等学校体育連盟・バドミントン専門部(<http://ibaraki-koutairen.jp>)のwebページに掲載してあります。

令和7年度茨城県高体連専門部収支決算書

バドミントン専門部

収入の部

単位:円

項目	予算額	決算額	増減(△減)	付記(明細を記入)
専門部費	¥790,000	¥790,000	¥0	高体連分配金
	¥ -	¥ -	¥0	
協会連盟補助	¥ -		¥0	
繰越金	¥ 678	¥ 678	¥0	
雑収入	¥ -	¥ 400	¥400	利息
合計	¥790,678	¥791,078	¥400	

支出の部

項目	予算額	決算額	増減(△減)	付記(明細を記入)
大会運営費	¥558,000	¥602,380	¥44,380	
関東予選	¥170,000	¥190,690	¥20,690	会場使用料(石岡) ¥28,990 シャトル代 ¥161,700
全国大会	¥110,000	¥243,100	¥133,100	会場使用料(水郷) ¥74,140 シャトル代 ¥168,960
新人大会	¥200,000	¥50,660	△ ¥149,340	会場使用料(水郷) ¥50,660 ※シャトル代は協会より補填
秋季大会	¥78,000	¥117,930	¥39,930	会場使用料(水郷) ¥117,930
会議費	¥40,000	¥33,440	△ ¥6,560	関東会議費 ¥20,000 総会・常任委員会会場費 ¥13,440
通信費	¥1,000	¥10,455	¥9,455	カワイアシスト送付等 ¥10,455
旅費	¥40,000	¥48,196	¥8,196	関東会議委員長旅費 派遣審判員旅費 ¥48,196
消耗品費	¥1,000	¥2,530	¥1,530	緑本購入費 ¥2,530
加盟負担金	¥50,000	¥70,000	¥20,000	関東分担金 ¥40,000 全国分担金 ¥30,000
強化費	¥100,000	¥0	△ ¥100,000	※強化練習会シャトル代金等は協会より補填
雑費	¥678	¥7,612	¥6,934	振込手数料等 ¥7,612
予備費	¥0	¥0	¥0	
合計	¥790,678	¥774,613	¥16,065	残金は次年度繰り越し

(R7決算収入合計) - (R7決算支出合計) = ¥16,465 は次年度に繰り越し

令和8年2月12日
上記のとおり相違ありません。

部長名 櫻井 隆之

記載責任者 増渕 広道

令和7年度の専門部の決算を監査したところ、出納が正確であり、帳簿等証拠書類とも適正であることを認める。

令和8年2月12日

会計監査 吉井 美幸

※決算書原本には押印されておりますが、個人情報保護のため、陰影を省略させていただきます。

令和7年度 茨城県バドミントン協会登録費等 収支決算報告書

令和8年4月15日

収入の部(円)

項目	金額	摘要
協会登録費より	410,000	
県協会より	398,200	
繰越金	2,897,332	
雑収入	5,399	利子
合計	3,710,931	

支出の部(円)

項目	金額	摘要
専門部補助	300,960	大会シャトル代
強化練習会補助	205,920	
関東選抜旅費等	47,280	
合計	554,160	

残高(円)

$$3,710,931 - 554,160 = 3,156,771$$

残金は、次年度に繰り越します。

茨城県高体連バドミントン専門部協会登録係

丹代 敬伸

令和8年度 茨城県高体連バドミントン専門部 役員(案)

部長	田中 一豪	[水戸工業]				
副部長	竹村 広治	[三和]	安藤 芳正	[波崎]		
委員長	淀縄 将人	[石岡第一]				
副委員長	小野田 剛志	[水海道第一]	富田 大輔	[土浦第二]		
強化委員長	磯部 和弘	[常総学院]				
強化副委員長	青山 真	[つくば国際大学]	飯岡 史弥	[土浦第一]		
記録委員長	山崎 文士	[藤代]				
記録副委員長	多田野 清人	[下館第二]	大林 克	[下妻第二]		
審判委員長	伊藤 公人	[常磐大学]				
副委員長	蒲地 泰香	[下妻第一]				
総務委員長	丹代 敬伸	[緑岡]				
総務副委員長	吉田 俊則	[下館第二]	関 健斗	[水戸第一]		
事務局	増淵 広道	[下館工業]				
(輪番制)	北→水戸→東→南→西1→西2(2年任期) ※西1の輪番2年目					
監査	吉井 美幸	[下館第一]				
地区委員長						
【県北】	山形 和也	[日立商業]				
【水戸】	川村 典史	[水城]				
【県東】	清宮 望	[清真学園]				
【県南】	益子 峻司	[霞ヶ浦]				
【県西①】	榮永 悦宏	[鬼怒商業]				
【県西②】	小松崎 秀一	[筑波]				
審判委員						
【県北】	4 人					
【水戸】	9 人	石澤 岳文 [勝田中等]	都倉 健史 [東海]	坂井 智春 [茨城高専]		
		小林 傑 [水戸工業]	小松崎 加那子 [常陸大宮]	黒羽 晶子 [水戸桜ノ牧]		
		菊池 和典 [水戸第三]	舟橋 広起 [大子清流]	岡田 竜治 [海洋]		
【県東】	1 人					
【県南】	10 人					
【県西①】	5 人					
【県西②】	5 人					
審判委員計	34 人					

令和8年度行事計画(案)

2026年4月16日

大会名	種目	期日	曜日	会場	地区予選	出場制限	運営	申し込み締切	組み合わせ会議
関東大会予選 (関東大会本戦: 6月5～7日 東京都調布市)	学校対抗	4月25日	(土)	霞ヶ浦文化体育会館 (女子)	無	1校1チーム ※試合形式 2複1単(5～8名)	西2	4月10日(金) <small>web(入カフォーム)から申し込み (総会出欠連絡とともに)</small>	4月16日(木) リリーアリーナMITO会議室 13:00からの総会終了後
		4月28日	(火)	霞ヶ浦文化体育会館 (男子)					
全国大会県予選 兼県民総体 (全国大会本戦: 7月22～27日 和歌山県和歌山市)	ダブルス	6月11日	(木)	笠松運動公園体育館	有	男女とも 各地区加盟校数分 ※男女共昨年新人戦 ベスト8まで推薦 1校1チーム ※試合形式 2複3単(5～8名)	水戸 北		6月3日(水) 石岡第一高校 9:00より常任委員のみで
	シングルス	6月12日	(金)	笠松運動公園体育館					
	学校対抗	6月18日	(木)	笠松運動公園体育館	有				
		6月19日	(金)	笠松運動公園体育館 (男女ベスト8以上)					
秋季大会	ダブルス	9月15日	(火)	霞ヶ浦文化体育会館	無	1校男女とも2D2S	西1	9月7日(月) <small>web(入カフォーム)から申し込み</small>	9月9日(水) 石岡第一高校 9:00より常任委員のみで
	シングルス	9月16日	(水)	霞ヶ浦文化体育会館					
新人大会 (関東選抜大会本戦: 12月18～20日 栃木県宇都宮市) (全国選抜大会本戦: 3月24～28日 三重県津市)	ダブルス	11月5日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	有	男女とも 各地区加盟校数分 ※男女共全国大会 ベスト8まで推薦 1校1チーム ※試合形式 2複3単(5～8名)	東 南		ダブルス・シングルス 11月2日(月) 石岡第一高校 9:00より常任委員のみで ※学校対抗の組み合わせは 個人対抗シングルス終了後 試合会場で常任委員のみで
	シングルス	11月6日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館					
	学校対抗	11月12日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	有				
		11月13日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館 (男女ベスト8以上)					
強化練習会		1月頃実施				詳細は後日			

令和8年度茨城県高体連バドミントン専門部予算書

記載者氏名 増淵 広道

収入の部

単位:円

項目	8年度予算額	7年度予算額	増減(△減)	摘要
専門部費	¥ 790,000	¥ 790,000	¥ -	高体連分配金
	¥ -	¥ -	¥ -	
協会連盟補助	¥ -	¥ -	¥ -	
繰越金	¥ 16,465	¥ 678	¥15,787	前年度より繰り越し
雑収入	¥ 400	¥ -	¥ 400	
合計	¥ 806,865	¥ 790,678	¥16,187	

支出の部

項目	8年度予算額	7年度予算額	増減(△減)	摘要
大会運営費	¥560,000	¥558,000	¥2,000	
関東予選	¥200,000	¥170,000	¥30,000	シャトル 体育館使用料
全国大会	¥170,000	¥110,000	¥60,000	シャトル ※水郷を使わない前提
新人大会	¥80,000	¥200,000	△ ¥120,000	体育館使用料 ※シャトル代を協会から出す前提
秋季大会	¥110,000	¥78,000	¥32,000	体育館使用料
会議費	¥ 34,000	¥ 40,000	△ ¥6,000	関東会議費 県総会会場代
通信費	¥ 865	¥ 1,000	△ ¥135	FAX, 切手, 郵送代
旅費	¥ 40,000	¥ 40,000	¥0	
消耗品費	¥ 1,000	¥ 1,000	¥0	筆記用具等
加盟負担金	¥ 70,000	¥ 50,000	¥20,000	関東分担金 全国分担金
強化費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥0	強化練習会費用
雑費	¥ 1,000	¥ 678	¥322	手数料など
予備費	¥ -	¥ -	¥0	
合計	¥ 806,865	¥ 790,678	¥16,187	

令和8年4月1日

各高等学校長 殿

茨城県バドミントン協会 会長 幡谷 定俊
茨城県高体連バドミントン専門部 部長 櫻井 隆之

令和8年度 日本バドミントン協会への会員登録および更新について

春暖の候、先生方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、上記の件につきまして、ベンチ入りする選手・教員は高体連への登録のほか、日本バドミントン協会への登録および更新が必要となっております。下記の要領で行いますので、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 対 象 高体連主催のバドミントン大会に出場する生徒および顧問の教員、外部指導者
- 2 登録料 高校生 1名 800円
教員 1名 1,800円（中体連にて登録済の場合、高体連では登録の必要なし）

3 登録方法

I. 登録手順

0. 管理者の変更

昨年度と管理者（登録業務をしていただく先生）が変更になる場合は以下のフォームより、「管理者」の情報を登録してください。昨年度と同じ先生が登録業務をされる場合は必要ありません。

●管理者情報登録フォーム

<https://forms.gle/53xb8ZUR6AN82poSA>



1. 日本バドミントン協会登録サイトにて登録作業

日本バドミントン協会のホームページにて教員、生徒の情報を登録してください。

●日本バドミントン協会会員登録サイト

<https://members.badminton.or.jp/nbarv/KNLOGIN.ffcc>



2. 登録料の振込

登録サイトにて選択した方法にて、登録料を振り込んでください。

※詳しくは「日本バドミントン協会への会員登録及び更新方法について」を参照ください。

II. 登録期間

管理者登録・変更期間 4月20日(月)まで

登録作業及び登録料振込 年度始： 4月24日(金)まで

追 加： 9月9日(水)まで

※年度始・・・関東大会県予選会、IH予選に参加する教員及び生徒の登録
追 加・・・それ以降の大会に参加する教員及び生徒の登録

4 注意事項

- (1) 日本バドミントン協会へ未登録の場合は、すべての大会に出場できません。
- (2) ベンチ入りする教員、外部指導者等は必ず登録および更新してください。未登録・未更新の場合はベンチ入りできません。
- (3) この登録は日本バドミントン協会へのものです。高体連の登録とは別のものですので注意して下さい。
- (4) 振込手数料は各校負担でお願いいたします。

事務連絡

令和8年4月16日

茨城県高体連バドミントン専門部加盟校 各位

茨城県高体連バドミントン専門部

部長 田中 一豪

令和8年度茨城県高等学校体育連盟登録の料金払込方法について（依頼）

時下、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件については「コンビニエンスストア決済」となります。本専門部加盟校は以下の手順で登録いただき、払込くださいますようお願い申し上げます。登録費は生徒一人500円となります。

【手順】

- ① 茨城県高体連バドミントン専門部 Web サイトの「申請書類」内にある Excel ファイル「高体連登録用紙」をダウンロードし、必要事項を入力する。
- ② 必要事項を入力した Excel ファイル「高体連登録用紙」を、茨城県高体連バドミントン専門部事務局へ E メール (ibakoubad@gmail.com) する。

その際、件名を「**校名_高体連個人登録**」と記してください。(例：〇〇_高体連個人登録)

【手順②までの締切日】前期登録：6月19日(金)・後期登録(追加)：11月13日(金)

- ③ 専門部事務局にて決算代行社(株式会社カワイアシスト)へ手続きが行われ、その後に各学校へ払込用紙が送付されます。
- ④ 払込用紙に記されている払込期日*までに、各学校でコンビニエンスストアにてお支払いください。
※払込期日を過ぎると、払込用紙は使用できなくなります。ご注意ください。
改めて振込用紙を発行する際は、**払込用紙手数料 264円が追加徴収**されます。

【注意事項】

- 領収書につきましては、コンビニ払込用紙に付属されている「払込受領書」が領収書となります。
- お支払いの際に**払込用紙発行手数料として、別途 264円およびコンビニ振込手数料が加算される**ことをご了承ください。
- 後期登録(追加)につきましては、9月頃に改めて連絡いたします。
- 大会へ出場するにあたり**この登録(高体連)ならびに日本バドミントン協会登録は、必ず行ってください。**

ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

連絡先

茨城県高体連バドミントン専門部 事務局

下館工業高等学校 増渕 広道

TEL 0296-22-3632 FAX 0296-25-4693

事務局 E メールアドレス

ibakoubad@gmail.com

令和8年4月16日

事務連絡

茨城県高体連バドミントン専門部
各地区委員長 殿

茨城県高体連バドミントン専門部
部長 田中 一 豪

(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について

日頃より、本専門部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。

さて、平成29年度より(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部においてインターハイ開催費補助及び専門部運営費補助の目的で、各都道府県におけるインターハイ予選学校対抗戦へ出場する学校(男女別)から、運営負担金を徴収させていただいております。

令和8年度につきましても例年通り、県予選組み合わせ会議または大会時に、徴収金と内訳【出場校(男女別)】の資料(書式は特にありません)を専門部委員長または県専門部事務局まで納入・提出ください。

領収書は、徴収金の受領時に各校へお渡しく下さい。なお、領収書に専門部長印が必要な際は、各校で専門部委員長または事務局まで申し出るようお伝えください。

負担金の案内文ならびに領収書については、本専門部 Web サイトから「(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について」をダウンロードして各校へ案内をしてください。

ご多用のなか誠に申し訳ありませんが、周知と理解の程よろしくお願いいたします。

記

- 1 名 称 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金
- 2 徴収目的 インターハイの安定開催及び専門部運営費補助
- 3 対 象 各都道府県におけるインターハイ予選 学校対抗団体戦出場校(男女別) ※
※男女ともに出場ならば、2チームとなります
- 4、徴収金額 1チーム 1,000円

令和8年4月16日

事務連絡

茨城県高体連バドミントン専門部
加盟校各顧問 殿

茨城県高体連バドミントン専門部
部長 田中 一豪

(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について

日頃より、本専門部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。

さて、平成29年度より(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部においてインターハイ開催費補助及び専門部運営費補助の目的で、各都道府県におけるインターハイ予選学校対抗戦へ出場する学校(男女別)からは、運営負担金を徴収させていただいております。

各地区予選において、学校対抗戦に出場する学校は男女別で1チーム1,000円を徴収させていただきます。(男女ともに出場ならば、2チーム2,000円となります)

つきましては、各地区組み合わせ会議または予選時に『負担金と下記の領収書』を地区委員長まで納入・提出してください。(領収書に専門部長印が必要な際は、負担金納入校または地区委員長にお願いして県大会時に、専門部委員長または事務局まで申し出てください。)

領収書

高校名 _____ 高等学校 様

金 _____ 円

ただし、令和8年度(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金として

令和8年 月 日

茨城県高体連バドミントン専門部
部長 田中 一豪

2026年3月8日

加盟団体理事長 様

公益財団法人日本バドミントン協会
事業本部長 朝倉 康善

「タイムクロック制」と「15×3制」の扱いについて

平素から本会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。 標記に関して、各加盟団体において2026年度の準備を円滑に進めていただくため、本会の対応見込みを下記の通りお知らせいたします。

【タイムクロック制】

昨年11月7日、BWF理事会の情報にもとづき加盟団体理事長宛に「タイムクロックシステム導入」に関するメールを発出いたしました。そこでは、11月17日から「タイムクロックと継続的なプレーに関するBWF新ガイドライン」が施行され、大会での試験導入が開始されること、試験導入が成功すれば2026年以降に本格導入予定であること等をお伝えいたしました。

現時点のBWF導入大会の状況を見てみますと、「タイムクロック制」の運用にバラつきがあり、統一的な扱いが確立するには一定の期間を要するであろうと思われま

す。本会といたしましては審判部会・競技運営部会の議論を踏まえ、2026年度に「タイムクロック制」を導入することは見送り、従来通りの扱いを継続することといたします。しかしながら、2026年度中にBWFの大会で「タイムクロック制」の運用が標準化されてきたと判断できる場合には、本会としても世界の動向に対応するため、関係者との協議と十分な周知の下、「タイムクロック制」を特定の大会で試験導入する場合があることも併せてお伝えいたします。

【15×3制】

15点3ゲームマッチのスコアリングシステムについては、昨年11月のBWF理事会で議論され、本年4月下旬のBWF総会で審議される見込みとなっています。過去のスコアリングシステムの議論の経過では、理事会提案であっても総会で否決されたこともあり、予断が許されません。また、仮に「15×3制」の導入が決まるとしても、施行の期日、付帯事項の有無等は総会終了まで分かりません。

本会といたしましては、現行の大会運営において競技時間の短縮を求める声を多数いただいていることを踏まえ、BWF総会で「15×3制」への移行が決定された際には、その施行期日を見極めながらできるだけ早い時期に国内大会への導入を進めます。

不確定要素の多い中ですが、「15×3制」の導入を本会から通達した際に各加盟団体でどのような対応をとられるか、あらかじめの検討をお願いいたします。あくまで仮の期日ですが、

- ① 4月下旬に導入となった場合の対応
- ② 8月上旬に導入となった場合の対応

等をお考えいただければと考えております。

なお、本会では全日本社会人大会・全日本ジュニア大会・全日本シニア大会・全日本総合大会、S/Jリーグ、日本スポーツ協会主催の国民スポーツ大会・日本スポーツマスターズ大会について、仮に予選と本選のシステムが異なることになっても導入を進める方向で検討を始めております。

以上

令和8年3月18日

各都道府県高体連バドミントン専門部委員長 様

(公財) 全国高体連バドミントン専門部
部 長 菊 地 亨

スコアリングが15点制へ変更された場合の全国高体連バドミントン専門部の対応について

日頃より当専門部の活動にご理解とご協力賜り感謝申し上げます。

3月8日付で日本バドミントン協会より発出された「タイムクロック制」と「15×3制」の扱いについての文書により通知のありました内容について、全国高体連バドミントン専門部で検討した結果、BWF総会で15点制が決定された場合は下記の通り進めることといたしましたのでご連絡いたします。

記

1. 令和8年4月下旬に導入となった場合は令和8年7月の全国高校総体（和歌山県開催）から実施する。
※和歌山 IH 前に実施されるブロック大会は15点制での準備を進めていただきます。
2. 令和8年8月上旬に導入になった場合は令和9年3月の全国選抜大会（三重県開催）から実施する。
※三重全国選抜大会前に実施されるブロック予選会は15点制での準備を進めていただきます。

【担当】

(公財) 全国高体連バドミントン専門部
副 部 長 越 田 芳 成
kosida-yosinari@ed.pref.toyama.jp